

Nコース 玉川上水周辺

(約 5.5km 井の頭線富士見ヶ丘駅～高井戸駅)

国指定史跡の玉川上水を中心に、久我山・上高井戸村をめぐる

1 東原遺跡 久我山 5-18

神田川左岸台地上の旧石器時代や縄文時代の遺跡です。縄文時代の最古段階である草創期の住居跡の可能性のある落ち込みが発見されています。

2 人見街道 久我山 5-24

区内を通る古道の一つで、武蔵国の国府（府中市）と下総国の国府（千葉県市川市）を結ぶ、重要な交通路でした。甲州街道が整備された江戸期には、脇街道としての役割を果たし、「府中道」とも呼ばれました。

3 享保七年銘道標付庚申塔 久我山 5-9

②の街道沿いにあります。側面には「これよりみぎいのかしらみち」とあり、江戸町人の信仰を集めた井之頭弁天への道標にもなっていました。

4 民間信仰石塔 久我山 4-50

小堂内に、庚申塔・念仏供養塔・地藏菩薩・日待塔・六地藏菩薩など計 10 基の石造物が安置されています。

5 久我山稻荷神社 (3329)0837 下高井戸八幡神社 久我山 3-37-14

毎年の夏祭りでは、境内で大釜に湯を沸かして行う「湯の花神楽」が奉納されます。村で疫病が流行し多くの死者をだした際に、神楽を奉納したところ、疫病がやんだという故事によるものです。久我山村の鎮守社。



6 玉川上水 久我山 2-11

神田上水だけでは不足する江戸市中の飲料水供給のため、幕府の命を受けた玉川兄弟が、承応 2 年（1653）に完成させました。多摩川を取水源とする 43km の水路で、区内では久我山村、上・下高井戸村、和泉村間の約 6.2km を流れました。牟礼橋から浅間橋に至る両岸には、雑木や桜並木があります。平成 15 年（2003）に国の史跡に指定されました。



7 上高井戸天神社 (3329)0837 下高井戸八幡神社 高井戸西 1-7-2

江戸期に「第六天神社」とも呼ばれた上高井戸村の鎮守社で、**明和八年（1771）** 銘石造狛犬は、区内でも古いものです。明治初年頃から**高井戸囃子**が祭礼時などに演じられています。

8 吉祥院 (3333)4550 高井戸西 1-5-44

境内には、成田山を模した築山があり、多数の石造物があります。明治 16 年（1883）に開創した天台宗の寺院です。

